

旅立ちの梨

第2章 WEEKLY

〈余命 およそ二週間からひと月〉

目次

1. 介護の心がまえ
2. 社会への関心
3. 食べること
4. くすりが飲みにくい時
5. 環境の調整
6. 点滴について
7. 排泄について

1 介護の心がまえ

- 介護が長くなるとご家族の疲れもたまってきます。ご自身の体調はいかがですか？ 十分な休息をとりましょう。
- 介護を交代してくださる人はいますか？ 介護の負担を減らすために看護・介護サービスを増やすこともできます。いつでもご相談ください。
- 「こんなこと聞いてもいいかしら？」と迷ったらいつでもご相談ください。

介護者の健康維持のため、介護を抱え込まず周りに頼ることも考えます。

2 社会への関心

- 社会への関心や人との交流がさらに狭まります。
- 安心して眠れるような静かで平穏な環境を保ってあげましょう。

3 食べること

- むせる時は食材にとろみを付けると食べやすい場合があります。
- 氷片・冷水・かき氷・果汁など、さっぱりした物を好まれることもあります。

〈 とろみの工夫 〉

- 山芋や卵黄をかける
- ミキサーでペースト状に
- プリン状に調理
- 市販のとろみ剤を使う

4 くすりが飲みにくい時

- 痛み止めが飲めなくなったら、貼り薬や座薬、注射という方法もあります。看護師や医師にご相談ください。

5 環境の調整

- 療養環境を整え、ご本人がストレスなく快適に過ごすことは大切です。
- 室内の温度や湿度、換気にも気を配りましょう。
- 枕やクッションを使い、楽な姿勢でいられるように工夫しましょう。

ベッドやマットレスは、介護保険を使つてのレンタル品があります。生活やからだの状態にあつたタイプを選べますし、タイプを変更することもできます。

6 点滴について

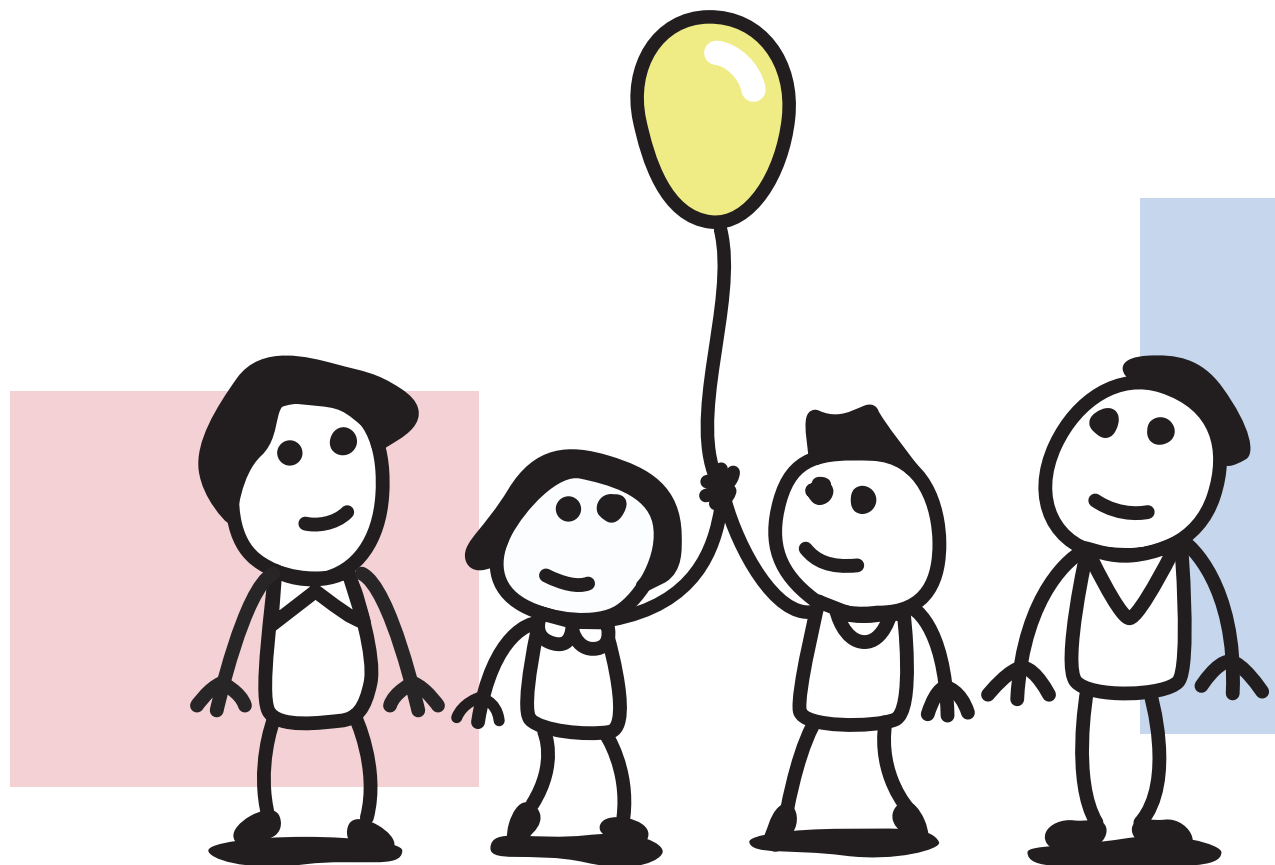
- 食べる量が少なくなると「点滴はしなくても良いですか？」と尋ねられることがあります。喉が渇いて思うように水分が取れない時には点滴が一時的に有効なこともあります。かえって苦痛となる場合もあります。
- おなかや胸に水が溜まっていたり、むくみがある場合には、症状が重くなることもあります。
- 点滴の針を刺す痛みや、じっとしていることの方がつらいこともあります。

点滴を受けるかどうかは医師や看護師も共に考えますが、ご本人やご家族の意思を確かめ合っておくと良いでしょう。

7 排泄について

- 尿器やおむつを使うことも考えます。おむつを使うことは、ベッドを汚さず清潔で快適に保つため役立ちます。
- トイレに行かなくなっても、看護師やヘルパーが陰部を清潔に保つケアを行います。

トイレ以外の排泄について準備しておくこと、いざというとき慌てずに対応することができます。



旅立ちの梨